

高洲地区社協だより

第61号

平成 28 年 12 月 20 日発行 事務局 高洲地区交流センター Tel 635-1458 Fax 634-0278

「ふれあいまつり」は大盛況

雲ひとつない晴天 5,000人の人出

雲ひとつない快晴の下、第35回「ふれあいまつり」が11月6日（日）に行われました。今回は、「ふれあいまつり」でどんな催し物が発表・実演・販売として展開されたのかできるだけ紹介します。その前に、開会式では消防団ラッパ隊の演奏、そして市のロボット「ペッパー君」と市社協キャラクター「キー坊」も登場、大人気でした。

「ふれあい部門」から幕をあげましょう。民生児童委員によるチャリティーバザー会場（2階）では、開始前から長い行列ができ、人気のほどがうかがわれました。開始40分には大混雑のなか、“少し高いけど買ったよ”、“どうしようか迷っちゃう”など様々な反応が見受けられました。なかには、“チャリティーだから少し高くても協力しよう”という人も……。売上金229,250円は高洲地区社協に寄付され、福祉活動に利用されます。献品にご協力くださった高洲第3・4・5自治会のみなさん、お買い上げくださったみなさんに感謝いたします。

広場に目を向けましょう。ふれあい広場では、子どもコーナーでヨーヨー・くじ引き、朝市コーナーで果物・野菜・花の販売、煙体験ハウス（子どもたちに人気）、パトカー乗車体験（子どもたちに人気）と賑わっていました。また、食べ物コーナーでは、たい焼き・イカ焼・ポップコーン・フランクフルト・フライドポテト・やきとり・綿菓子の販売はどこも大盛況で、特に親子連れで喜んでいたのが印象的でした。

「発表部門」は、集会室で行われました。ふじの花保育園（4歳児）・高洲南幼稚園（年少）によるリズムダンス・リズム表現・合奏・合唱、高洲小学校（4年生）・高洲南小学校（4年生）による合唱・合奏、高洲中学校吹奏楽部による吹奏楽演奏、横山自治会長（委員長）によるアルト・サクソ演奏、その他、踊り、大正琴演奏、キッズダンス、コーラスとそれぞれの素晴らしい発表に感心しました。

「実演コーナー部門」では、ボーイ・ガールスカウトによるキーホルダー・クラフト作り、老人クラブ連合会・円月荘による作品展示（2階）、遠州浜松そば道場による手打ちそば実演（2階）、女性保健委員による血圧・腹囲測定、食推協によるさくら飯・水ようかん販売、シルバー人材センターによる刃物研ぎ（有償、受付12時）、保護司高洲会による更正保護施設入所者作製の木工製品・革製品等展示・販売、寿一座では動物ふうせんの販売、東日本・熊本地震応援バザーではジュース販売が行われ、大盛況でした。



大人気のチャリティーバザー会場

今回の人出は、去年より多い5,000人を上回る盛況ぶりでした。産業祭（県立武道館）や大道芸（静岡市）があったにもかかわらず・・・。

毎年行われる「ふれあいまつり」は今年で35回を重ね、高洲は一つという思いから、高洲地区全体のまさに、「ふれあいの場」として賑わいを見せて参りました。

今後も、多くの方々に足を運んでいただき、「人」と「もの」に触れ合って楽しんでいただきたいと思います。（高洲第一、第二地区民生委員・児童委員協議会）

グループ紹介

与左衛門ふれあいサロン「遊々」 与左衛門ふれあいサロン「越百（こすも）」

与左衛門ふれあいサロンは、町内会の「子育て世代・お年よりにやさしい町内会を目指そう」の一環として、平成25年4月に誕生しました。検討開始から半年で開設できたのも、市社協、地区社協、町内会、その他大勢のみなさまのご指導、ご支援、ご協力をいただいたお陰です。

発足にあたり会員募集したところ、260世帯の町内で100名の申込みがあり、町内会館で一同に活動できないことから、二つのサロンの誕生となりました。



できあがった正月の玄関飾り（11月）

毎月の定例活動は、初期の活動プログラムにもとづき、第3木曜日の午前と午後に分けて二つのサロンが交互に開催しています。現在の会員数は108名（うち運営ボランティア委員23名）で、男性4割、女性6割と他のサロンと比べて男性の割合が高いのが特徴です。これは活動にも反映され、毎年10月の収穫祭や年末の餅つき大会は子どもたちも参加して好評です。その他、健康体操、懐かしの映画鑑賞、劇団の演芸、出前講座、春のバス旅行、正月の玄関飾り作成など多岐にわたっています。

毎月の定例活動以外に五つの同好クラブ（手芸、菜園、グラウンドゴルフ、茶道、将棋）があり、同好クラブの開催回数は年延べ「悠々」で135回、参加人員延べ1,430人、「越百」で年延べ67回、参加人員延べ328人と同好クラブの活動も非常に活発です。

このように、近所の仲間と日常的に無理なくそして楽しく活動できていることは、交流を通じて生きがいづくりや地域の絆づくりに一歩前進したと思っています。

またやります！ フードドライブ

家庭で眠っている食品を寄附してください

フードドライブとは、家庭で眠っている食品を持ち寄り社会福祉協議会などを通じてフードバンクに寄附する活動です。（寄附物品は食べ物に困っている人に届けられます。）

期 間：平成28年12月20日（火）～平成29年1月31日（火）

収集場所：高洲地区交流センター、市内交流センター・公民館、市役所 ほか

食品について：穀類（米、麺類）、保存食品（缶詰、瓶詰）、インスタント食品、調味料等常温で保存ができるもの。（2月末日以降の賞味期限が記載されており、かつ未開封で破損していないもの）

主 催：NPO 法人 フードバンクふじのくに

問 合 せ：藤枝市社会福祉協議会地域福祉係

藤枝市自立生活サポートセンター

☎667-2940

☎643-3161

